

New Year greetings 2012
辰年の決意
共に助け合い、支え合える地域づくりを目指して。

新

年明けましておめでとうございます。町民のみなさまにおかれましては、新たなお気持ちで初春をお迎えのことと存じます。また、平素より町政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、私たちは大変な衝撃を受けると同時に、改めて自然の怖さを痛感させられた年でもありました。被災地の一日も早い復興を願い、あわせて本町の防災環境の整備に意を注ぎたいと思っております。おかげさまで、2期目も半ばになろうとしていますが、町民のみなさまにお約束いたしました「ま

ちづくりの諸施策」について、その進捗状況をご報告したいと存じます。

最近、絆の再生ということをよく耳にするようになってきましたが、かつて向こう三軒両隣と表現されたように、地域の結束は強固なものがありません。本町においてもこのことを重視し、「助け合い支え合える」地域環境の創造を喫緊の課題として、町内の12行政区をモデル地区に指定し、取り組みを始めたところでございます。この施策は、社会福祉協議会と連携しながら推進を図っていますが、平成24年度も新たに12行政区の募集を考えていますので、是非ご協力いただきたいと存じます。

次に、観光のまちづくりについてですが、その成否は、今後の福智町の浮沈を左右すると言っても過言ではないほど重要な施策だと考えています。幸い本町は、人材や自然そして発信力のある上野焼や温泉など豊富な資源に恵まれており、それぞれの有効活用が図れば、必ず観光のまちとしての位置づけができるものと確信しています。さらに、農業振興の面でも、地元産の野菜などは地元で消費する環境づくりを模索したり、オリーブの植栽に向けて準備を進めるなど、鋭意努力をしているところであります。いずれにいたしましても、1月中旬から2月上旬にかけて、町政報告会を計画していますので、改めてご説明させていただきます。と思っています。

結びに、本年が町民のみなさまにとりまして、幸多き年となりますように念じまして、新年のごあいさつといたします。

福智町長

浦田 弘二

座右の銘

己を尽くして人を咎めず、我が誠の足らざるを常に尋ねべし

西郷隆盛の言葉で「常に自分のやるべきことを尽くし、物事がうまくいかない場合も、自分の至らぬ点を見つめ直して反省し、自分自身を磨く」という心掛け。